

# 第 17 回フレンドリーカップバスケットボール大会

〔兵庫県女性バスケットボール連盟交歓大会〕

2014/11/9(日)

淡路市立一宮体育センターいざなぎアリーナ・淡路市立津名中学校

日時:  
場所:

Aブロック (一般)					戦評
ゲーム	チーム名	得点	チーム名	審判	
A-1	アゲインズ	27	24	芦屋シーサイド	<p>第1ピリオド、両者マンツーマンディフェンスの立ち上がり。芦屋シーサイドはインサイドプレイでファールをもらうがアゲインズは速攻でペースを掴み得点を重ねる。第2ピリオド芦屋#18#10の3Pシュートとインサイドプレーでリズムを掴み点差を縮め13-16で折り返す。第3ピリオド芦屋シーサイドのミスからアゲインズ#11の連続ゴールで点差を広げる。第4ピリオド芦屋シーサイドはインサイドにボールを集めファールをもらい最終間際3Pシュートを決めるが一歩及ばずアゲインズが逃げ切った。</p>
		$\left[ \begin{array}{l} 12 - 6 \\ 4 - 7 \\ 8 - 0 \\ 3 - 11 \end{array} \right]$		三浦 宏美 杉本 光子	
B-1	TMC	10	40	西神マモデル	<p>第1ピリオドTMC2-1-2ゾーンディフェンス、西神マモデルマンツーマンディフェンスでスタート、TMC#17今井3Pシュートで先制。その後一進一退の攻撃で第1ピリオド3-6で終了。第2ピリオド残り3分ディフェンスからのカットで西神マモデルが流れを掴み連続得点前半6-16で終了。第3ピリオド、スタートはどちらも攻撃のリズムを掴み残り2分西神マモデル#34澤田のバスケットカウントから西神マモデルが波に乗り終始西神マモデルのペース。第4ピリオドTMCが先制するも流れは変わらずそのまま試合終了</p>
		$\left[ \begin{array}{l} 3 - 6 \\ 3 - 10 \\ 0 - 14 \\ 4 - 10 \end{array} \right]$		神谷 夕香 西内 美佐江	
A-4	西神マモデル	22	46	アゲインズ	<p>第1ピリオドアゲインズ#11佐々木#13福永の3Pシュートが連続で決まりその後も手強いディフェンスで西神マモデルに得点を許さず20-1と差をつけた。第2ピリオド残り4分52秒西神マモデルのメンバー追加報告漏れによるテクニカルファール適用でアゲインズにフリースローが与えられたがアクシデントに気落ちすることなく戦った西神マモデルも闘志あふれるディフェンスで善戦するもアゲインズは3Pシュートなどで差を縮めることなく勝利した。</p>
		$\left[ \begin{array}{l} 1 - 20 \\ 8 - 5 \\ 5 - 14 \\ 8 - 7 \end{array} \right]$		高原 亜理沙 呉 恭子	
B-4	芦屋シーサイド	34	13	TMC	<p>第1ピリオド残り4分22秒シーサイド先制、その後TMCに得点を入れさせず7-0で終了。第2ピリオドTMC2ゴールを返すもシーサイドの粘り強いディフェンスに得点を重ねる事が出来ない。第3ピリオド両者混戦となりファウルが増す。第4ピリオド着実に得点を重ねたシーサイドがTMCの反撃を振り切り勝利を収める。</p>
		$\left[ \begin{array}{l} 7 - 0 \\ 9 - 4 \\ 8 - 4 \\ 10 - 5 \end{array} \right]$		渡邊 明子 北村 治美	

Bブロック（一般）					戦評
ゲーム	チーム名	得点	チーム名	審判	
A-2	エンドレス	33 $\left[ \begin{array}{c} 11 - 4 \\ 4 - 2 \\ 12 - 5 \\ 6 - 8 \end{array} \right]$ 19	リトルパンダ	寺口 温子 遠藤 千恵	エンドレス#4東泉の危なげないシュートでゲームが始まる。リトルパンダも全員でシュートを打つが点につながらず。第2ピリオド、ほぼ互角の戦いだがシュート決定率ではエンドレスが上回る。第3ピリオド、リズムを掴みたいリトルパンダだが攻めあぐむ。多彩な攻撃で点を重ねたエンドレス。貫録をみせつけ終始エンドレスのペースでリトルパンダを振り切る型の試合となった。
B-2	Funnyゴールド	30 $\left[ \begin{array}{c} 2 - 7 \\ 12 - 8 \\ 6 - 11 \\ 10 - 12 \end{array} \right]$ 38	ビッグママ	能田 浩三 金氣 里紗	第1ピリオドビックママ#24木崎の3Pシュートでビックママ若干リード、第2ピリオドFunnyゴールドのアウトサイドシュートが決まり始め1点差まで詰め寄る。第3、第4ピリオドは終始ビックママのペースで点差を広げFunnyゴールドをかわし切った。
A-5	ビッグママ	17 $\left[ \begin{array}{c} 4 - 6 \\ 7 - 6 \\ 2 - 0 \\ 4 - 9 \end{array} \right]$ 21	エンドレス	西川 知佐子 澤田 景子	第1ピリオド両チーム共ディフェンスに固く守られなかなか得点に結びつかず第2ピリオド引き続きスピードある展開となるが守りが強くお互いに得点が伸びない。第3ピリオド両チーム共積極的にシュートをするがエンドレスは無得点で最終ピリオドへ。第4ピリオド残3分からシュートが決まりだし同点、エンドレス#12川辺の3Pシュートでエンドレスが逃げ切った。
B-5	リトルパンダ	26 $\left[ \begin{array}{c} 6 - 11 \\ 8 - 7 \\ 4 - 7 \\ 8 - 7 \end{array} \right]$ 32	Funnyゴールド	村上 可代 本田 貴子	第1ピリオドFunnyゴールドは#18の3Pシュートで波に乗り先制する。第2ピリオド、リトルパンダは粘り強いディフェンスで14-18と互角の戦いとなる。第3ピリオドお互いスピードのあるボール運びで速攻をしかけるがゴールに嫌われ苦しい展開となる。第4ピリオド、リトルパンダの#17はゴール下での闘志あふれるシュートを決めるがFunnyゴールドが逃げ切った。

Cブロック（一般）					戦評
ゲーム	チーム名	得点	チーム名	審判	
A-3	Hime G!	47	CZ倶楽部	袖岡 としみ 三輪 百合子	第1ピリオド両者マンツーマンディフェンスの立ち上がり、お互いに攻めあぐむがHime G!がパスカットからの速攻などにより点数を重ねていく。第3ピリオドHime G!がまたもやパスカットからの速攻により流れを掴む、一方CZ倶楽部はシュートまで持っていくがゴールに嫌われ得点を伸ばせない。第4ピリオド立ち上がりCZ倶楽部の2連続シュートにより波に乗りたいところだが、Hime G!が着実にゴールを決めそのままHime G!が押し切った。
B-3	桜香クラブ	56	ラウンド	本田 貴子 井関 千佳	第1ピリオド両チーム共にゴール下シュートがリングに嫌われ得点出来ないまま2分経過、桜香#16野間口のミドルシュートと速攻が決まり桜香ペースで進む残り1分でラウンド#8北村のカットインシュートが決まる。第2ピリオドラウンドゴールで開始も波にのれないまま苦戦、残り1分で#18西内の3Pシュートが決まるも桜香の速攻、3Pシュートが決まり後半も終始桜香ペースのまま桜香の勝利となる。
A-6	ラウンド	13	Hime G!	増井 律子 肥田 さやか	第1ピリオドはHime G!#16三輪#18丸尾の連続3Pシュートで勢いづき軽快なパス回しで得点を重ね、粘り強いディフェンスで相手を寄せ付けない。第2ピリオドもターンオーバーからの速攻等でHime G!が危なげない戦い。残り40秒でラウンド#8北村が3Pシュートを決め初得点を決める。第3、第4ピリオドも堅い守りを続けるHime G!にラウンドは攻めあぐむ。終始Hime G!のペースで貫録を見せつけた。
B-6	CZ倶楽部	14	桜香クラブ	松尾 佳代子 洲脇 理絵	第1、第2ピリオド桜香クラブは終始ハーフラインから当たり気味でディフェンスをしパスカットやドリブルカットで速攻に結び確実に得点を重ねた。第3ピリオドCZ倶楽部は果敢にカットインシュートを打つがリングに嫌われなかなか得点到り結びつけることが出来ない。最後まで攻撃の手を緩めなかった桜香クラブが大差をつけて勝利した。

Dブロック (シニア)					戦評
ゲーム	チーム名	得点	チーム名	審判	
A-1	桜香コミックス	33 $\left[ \begin{array}{l} 9 - 0 \\ 6 - 7 \\ 4 - 6 \\ 14 - 3 \end{array} \right]$	16 西播磨ドリームA	吉賀 章子 瀧澤 みどり	第1ピリオド桜香コミックスの厳しいマンツーマンが功を奏し西播磨ドリームAは攻めきる事が出来ない。第2ピリオド桜香コミックスは#14岡辺のポストプレーが決まり西播磨ドリームAはミドルシュートが入りだす。第3ピリオド西播磨ドリームAは桜香コミックスのオールコートプレスをくずし点差を縮める。残り3分桜香コミックスの3Pシュートが決まり、チームの勢が増し、そのまま逃げ切った。
B-1	WINK	42 $\left[ \begin{array}{l} 8 - 4 \\ 15 - 6 \\ 13 - 2 \\ 6 - 0 \end{array} \right]$	12 CZ&purple	清水 ともこ 矢野 康晴	第1ピリオド両チームとも互角の出だし。第2ピリオドWINKの速攻が立て続けに決まりリズムに乗り始める。後半CZ&purpleもシュートを打つがなかなか決まらない。両チーム最後まで動きも良かったが、シュートの決定力に差が出た。
A-3	エンドレスローズ	36 $\left[ \begin{array}{l} 6 - 5 \\ 10 - 6 \\ 9 - 7 \\ 11 - 6 \end{array} \right]$	24 FUNNY	矢野 康晴 葭田 真由美	両者マンツーマンで守りが良く互角の戦い。第2ピリオドエンドレスローズがオールコートマンツーマンになり、接触の多い攻防になる。第3ピリオドFUNNYがゾーンディフェンスになり#11岸本の3ポイントシュートで2点差とせまるがエンドレスローズも速攻でその差を開く。第4ピリオド両者パスミスも出るが最後まで激しい戦いをして、エンドレスローズが逃げ切った。
B-3	ビッグママ'S	14 $\left[ \begin{array}{l} 0 - 16 \\ 4 - 21 \\ 4 - 7 \\ 6 - 10 \end{array} \right]$	54 桜香コミックス	福田 祥寛 池田 清美	桜香コミックス#14のシュートから続けて3本決め桜香コミックスリードで第1ピリオドが始まり#14が10点を入れ、16-10で第1ピリオドが終了。勢いのついた桜香コミックスがビッグママ'Sのディフェンスを振り切りパスを回して37-4と、大きく差をつける。第3ピリオドに入っても桜香コミックスリードでゲームが進んでいく。第4ピリオドに入り、ビッグママ'Sはディフェンスをゾーンからマンツーマンに変え果敢に攻めるが桜香コミックスリードのままゲームを終える。
A-5	西播磨ドリームA	12 $\left[ \begin{array}{l} 5 - 4 \\ 3 - 13 \\ 2 - 6 \\ 2 - 4 \end{array} \right]$	27 WINK	山崎 恵子 重近 世都子	第1ピリオド お互いマンツーマンディフェンスでスタート。第2ピリオド #23がインサイドで得点を重ねる。第3ピリオド WINKがフリースローを着実に重ねる。第4ピリオド お互いジャンプボールシチュエーションが多く、ポゼションがかわる
B-5	CZ&purple	22 $\left[ \begin{array}{l} 4 - 13 \\ 5 - 12 \\ 6 - 4 \\ 7 - 8 \end{array} \right]$	37 エンドレスローズ	矢野 康晴 木村 典子	第1ピリオド、エンドレスローズは#18大石#8川口のロングシュートと厳しいディフェンスからの速攻で得点を重ねた。第2ピリオド前半は互角の攻防だったが、後半はエンドレスローズが引き離れた。第3ピリオドはエンドレスローズのメンバーが変わり、CZ&purpleは優位に試合を進めた。第4ピリオドCZ&purpleが優勢だったがエンドレスローズのミドルシュートも決まり逃げ切った。
A-6	FUNNY	26 $\left[ \begin{array}{l} 6 - 8 \\ 5 - 5 \\ 7 - 6 \\ 8 - 8 \end{array} \right]$	27 ビッグママ'S	市川 美貴子 後藤 みちる	両チーム共決め手に欠き、前半は13対10ビッグママのリードで終える。両チーム共ディフェンスの当りはきつく、攻めがぐむが、第4ピリオド3分過ぎからのビッグママのからのシュートが決まり出し、5点差をつけるがFUNNYのねばりから、残り20秒で1点差までそのまま試合終了。

## Eブロック (ゴールデンシニア)

Eブロック (ゴールデンシニア)					戦評
ゲーム	チーム名	得点	チーム名	審判	
A-2	FINE	19 $\left[ \begin{array}{l} 0 - 18 \\ 7 - 6 \\ 6 - 8 \\ 6 - 3 \end{array} \right]$ 35	アゲインズPLUS	高原 亜理沙 永易 佳代子	第1ピリオド アゲインズPLUSの速攻で先制し、試合の主導権を握る。 第2ピリオド FINEがリズムをつかみ追い上げるが、アゲインズPLUSの優位は変わらない。第3ピリオド 両チーム一進一退の流れになるが、アゲインズPLUSがかわしきる。第4ピリオド 白熱した試合になるが、第1ピリオドの差は何ともしがたく、アゲインズPLUSが勝利した。
B-2	西神マモデルS	28 $\left[ \begin{array}{l} 10 - 12 \\ 6 - 8 \\ 9 - 4 \\ 3 - 6 \end{array} \right]$ 30	西播磨ドリームB	榎本 昌子 鳥川 美樹	前半は西播磨ドリームBがスティールからの速攻でリズムをつかむも、西神マモデルSがセンターを起点とするプレイで追い上げ、接戦となる。両チームとも闘志溢れるプレイで、西神マモデルSが1点リードして第3ピリオドを終える。第4ピリオドも一進一退の白熱した戦いとなるが、西播磨ドリームBが逆転して勝利をつかむ。
A-4	西播磨ドリームB	31 $\left[ \begin{array}{l} 6 - 4 \\ 10 - 2 \\ 5 - 4 \\ 10 - 2 \end{array} \right]$ 12	FINE	吉川 留美 今田 眞奈美	第1ピリオド西播磨ドリームBはハーフマンツー、FINEは3-2ゾーンディフェンスで始まる。第2ピリオド西播磨ドリームBのデインディフェンスからのスチール、速攻が決まりリードする。第3ピリオド西播磨ドリームBのシュートが入り、さらにリードを広げる。第4ピリオド、FINEのディフェンスがダブルチームでスチールをねらい白熱した戦いになったが西播磨ドリームBがそのまま逃げ切った。
B-4	アゲインズPLUS	40 $\left[ \begin{array}{l} 15 - 4 \\ 8 - 5 \\ 13 - 6 \\ 4 - 7 \end{array} \right]$ 22	西神マモデルS	服部 照 中村 美希子	最初からオフェンスリバウンドが勝っていたアゲインズPLUSがスティールからの速攻でリズムをつかむ。西神マモデルSもインサイドを使って勝負するがなかなかシュートが決まらない。前半は23-9で折り返す。後半に入り互角の戦いが続くがアゲインズPLUSの外角シュートが入り出し突き放す。西神マモデルS#4が続けてシュートを決めるが40-22で押し切った。